

「市民と議会をつなぐ意見交換会」 報告書			
開催日時	令和元年 1 1 月 2 3 日（土）	参加団体	三原私立保育連盟 公立幼稚園PTA連合会 三原市PTA連合会 絵本クラブ さくら キッズサロン わんぱくらんど 子どものほっとスペース（子ども食堂） 民生委員・児童委員
	1 4 時 0 0 分から 1 5 時 4 9 分		
開催場所	三原市議会議事堂（委員会室）	参加人数	3 0 人 （参加団体28人，一般参加 2 人）
出席議員	委員長 杉谷辰次 副委員長 木村尚登 児玉敬三 亀山弘道 新元昭 陶範昭 岡本純祥 寺田元子		
テーマ 「子育て・子育て～三原で豊かな子ども時代を過ごすには～」 (厚生文教委員会)			
聴取した質問・意見・要望など		議員の意見・回答など	
大型遊具がある遊び場がない。 遊具の設置が困難であれば，遊具がなくてもいいので，大きな広場を作ってほしい。 公園等はボール遊びが禁止されている。自由にボール遊びができる遊び場を作ってほしい。 夏は公園の遊具が熱くなり，使用できない。夏期でも使用できるよう検討してほしい。 少人数での通園，通学が危険である。保護者が見守りをしているが，保護者だけで対応するには限界がある。 幼児教育が無償化され，公立幼稚園の存続に危機感をもっている。夏休み中の子どもの預かり保育など，サービスを充実をさせ，公立幼稚園の存続に努めてほしい。 公立幼稚園は2年保育であるため，保護者は就業することをあきらめている。3年保育にできないか。		子どもが遊べる場所がないことは課題として受け止めている。特に雨の日の遊び場がないという保護者の意見をアンケートから把握している。 来年には，駅前西館の2階に児童館ができる。今の児童館よりも広くなり，中高生も利用が可能になる。 身近な公園で子ども達が思い切りボール遊びをしたいという思いは理解できる。環境整備の問題でもある。市は，ボールが飛ぶ方向にネットを張るなどの環境整備を検討している。地域の方とお互いに意見を出し合ったうえでの環境整備が必要だと感じている。	
先生が一人しかいない幼稚園で，園の行事がある時に先生が体調不良になり，困った経験がある。先生を増やしてほしい。		意見として伺っておく。	
城跡公園にゴミが多く捨てられている。保育所の児童の遊び場でもあり，子育ての環境としてふさわしくないのではないかと。 気象警報が発令された場合，学校や保育所へ子どもを迎えに行かなければならないが，職場の理解が得にくい場合がある。安心して迎えに行くことができるように，企業に対し，理解を求めるよう市から周知してほしい。			

聴取した質問・意見・要望など	議員の意見・回答など
通学路の見守り支援をお願いしたい。 保護者が通学路の見守りをしているが、その一部を町内会に協力していただいている。もっと多くの人にボランティアとして協力してもらいたい。他の自治体では、高齢者がボランティアをするとポイントが付与され、ポイントがたまれば、表彰を受ける制度がある。高齢者の生きがいにもなるうえ、協力してもらうことで保護者も助かるため、導入に向けて検討をしてほしい。 中学校の通学路に暗い場所が多く、保護者として通学に不安を感じている。安全に通学ができるよう街灯を設置してほしい。 市内の学校で荒れている学級がある。対処方法はないのか。	通学路の見守りについて、地域で子どもをどう育てていくかという考えのもと、高齢者と子どもが声かけをしていけば、お互いよりよい関係を築くことができる。ボランティア活動をポイント制にすることがよいかどうかは検討が必要。 子どもが安心して通学することは大事なことで認識している。PTAの皆さんで地域の見回りを行い、街灯が必要な箇所をチェックしたうえで、町内会を通して要望すれば、設置が早く進むのではないかと。
子どもの居場所づくりを目的に子ども食堂を設立した。 一人でも多くの人に子ども食堂を知ってもらいたいので、議員から地域の人に取り組みを紹介してほしい。	
市は、0歳時検診などの際に、絵本をひらく体験と絵本をプレゼントする活動である「ブックスタート」を廃止した。本は、子どもの成長にとって大切であるため、復活させてほしい。 各学校に図書館司書が配置されているが、毎年交代している。1年交代では、図書館の機能を充実させることは難しい。人員配置について改善してほしい。	
地域子育て支援サロンを運営している。使用していた公共施設が平成30年7月豪雨災害により被災したため、現在は他の施設を借りて活動している。本郷幼稚園に通園している子ども達の居場所になっているため、幼稚園の近くで活動をしたい。本郷幼稚園の近くに代替施設はないか。	
廃校を子どもの居場所として活用してはどうか。 市内の子育てサロンの特徴や実態を調べ、各サロンに情報提供してほしい。他の取り組みを知ることで、活動の幅を広げたい。放課後子ども教室も、同様に情報提供してほしい。 不登校の子どもの居場所を増やしてほしい。久井、八幡地域にはない。	昨年の委員会で、市内の全ての子育てサロンを訪問し、実態を調査させていただいた。様々な工夫をされていることや現場でのご苦労をお聞きし、困っておられることを把握している。 サロン同士の情報交換ができていないことを課題として認識しており、委員会として、課題解決に向けた取り組みができていないことを申し訳なく思っている。 不登校の子どもの居場所として、リージョンプラザに適応指導教室である「三原ふれあい教室」がある。不登校の理由は、それぞれ違い、対応が難しいが、委員会として、この問題を市に対してどのように投げかけていくべきか考えていきたい。